

## 令和5年度 光市青少年問題協議会会議結果報告書

- 1 会議名称  
令和5年度光市青少年問題協議会
- 2 開催日時  
令和6年2月1日（木）18時～19時30分
- 3 開催場所  
光市教育委員会1階ホール
- 4 出席者  
光市青少年問題協議会委員16名（4名欠席）
- 5 公開・一部非公開の別  
公開

### 6 議会の議事録（要旨）

#### （1）会長あいさつ

皆様方には平素から教育活動に深いご理解とご支援をいただいております、心より御礼を申し上げます。本会議のテーマ「前向きな心」として既に3年間経過します。この3年間に皆様から様々なご意見をいただきました。去年の皆様方からの「前向きな心」への意見として、「子どもの思いを形にする」「子どもの自信を持たせる」「子どもが主役」「人とのつながり」「自己肯定感」「社会と関わる経験」「発想の種をまく」「チャレンジ精神」、このようなキーワードをいただきました。これはまさに「前向きな心」の具体的なテーマだろうと思っております。

そして、さらにここでは小中一貫教育ひかり学園の現実を見ていただいております。これを見るにつけ、コミュニティ・スクールが前に進んで進化していると受け止めており、私は嬉しく思っております。

これこそ、まさに「前向きな心」が、子どもたちの中に育っている証でもあります。本日は、室積学園のこうした取り組みを皆さんと共に共有したいと思っております。

子どもたちが本当の意味で光り輝く私たちの希望が叶うように、私たちも努力しなければなりません。本協議会は青少年の課題を理解し、また様々なことを通じて青少年を育ていく会であります。皆様方のご発言がそれを後押しするということとなりますので、是非、ご忌憚のないご意見をお願いいたします。

#### （2）委員委嘱（今年度7名新規）

#### （3）所管説明

##### ア 光警察署

管内の犯罪発生、少年非行、子どもへの声かけ事案の発生状況等

##### イ 光市教育委員会

光市児童生徒の問題行動・不登校等

##### ウ 部活動改革推進室

光市学校部活動の地域移行について

（質問）

小体連、中体連とのつながりは、どういうふうになるとお考えでしょうか。

（回答）

クラブ活動団体が中体連に参加する場合は、あらかじめ参加の登録が必要になりますので、登録指定が認められた段階で中体連の大会に参加できることとなります。

#### （4）これまでの経緯（事務局）

本協議会では、令和2年度から「前向きな心」をテーマにして3年目になり、青少年の問題

について協議を進めてきています。昨年の協議会では、「大和を愛し、未来に羽ばたく大和っ子」と題して、子どもたちの前向きな心を共有しながら、大和学園地域協育ネットや小中一貫教育の大和学園のつながりを生かして、学校・家庭・地域が知恵を出し合って進めている活動の事例を発表していただきました。

学園ごとに子どもたちの実践を育み伸ばすために、小中合同で、また学校・家庭・地域が一体となって進めている取組を子どもたちが「前向きな心」を発揮している活動例として、キーワードとともに紹介しております。

本市では全国に先駆けてコミュニティ・スクールの取組を段階的に進め、10年前に全ての小中学校をコミスクに指定して以来、令和2年度からはそれぞれの中学校区を一つの学園として次世代型コミュニティ・スクールとして新たな一歩を踏み出しています。地域協育ネットとは、学園一体的なネットワークを示しています。

このあとの事例発表では、室積学園の室積中学校から「室積学園と地域が連携した取組」と題して子どもたちが「前向きな心」や自ら考えて行動している実践活動の事例について、映像も交えて紹介していただきます。

#### (5) 事例発表（室積学園～室積中学校）

【室積学園と地域が連携した取組】 キーワード：〈そろえる〉〈伝える〉〈感謝する〉  
めざす子ども像

「自分を見つめ、夢を持ち、人との関わりを大切にし、地域を愛せる子ども」

\* 以下の点について、生徒の声を交えて、活動の様子を写真や動画で視聴し、室積中学校の発表者からの説明があった。

##### ア 生徒総会

「一人ひとりの意見で輝く！奏樹プロジェクト」と称して、室積小6年生と室積中全生徒が参加し、学校運営協議会の委員さんに様子を見ていただき、小中、地域の関わりを深める取組

##### イ 学校運営協議会

年5回の内、2回目は中学生、4回目は中学生と小学生が参加し、小中、地域との関わりを深め、生徒の提案に地域の方、保護者の方が熱心に回答され、話し合われた。

##### ウ 盛り上がり！夏レクフェティバル

スポーツを通して、小中、地域の関わりを深めることを目的に実施した。

##### エ 小学校算数スキルアップ教室&中学生ボランティア

中学生ボランティアは、小学生とのつながりを感じ、交流を深めることができた。

##### オ 地引き網体験

生きた魚を捕る体験は、日々の食事への感謝の気持ちにもつながり、有意義だった。

##### カ 運動会予行・地踊り

中学校の運動会の予行に小学6年生が参加し、中学生になったときの心構えを学べた。地域伝統の地踊りや木遣り太鼓では、地域の伝統に触れられるよい機会になった。

##### キ 室積小学校150周年記念ウォークラリー

中学生がサポートしてウォークラリーを実施して、小学生を楽しませることができた。

##### ク 早長八幡宮秋祭り山車巡行子どもみこし

2年ぶりに行われ、小学生や地域の方との関わりが深まり、楽しかった。

## ケ みたらいアートプロジェクト

昨年から始まったプロジェクト。今年は、室積小150周年を記念して実施。学校でやらないことや使わない道具が多くて新鮮だった。

## コ 門松作りボランティア

小中学生と地域の方が協力して作業する中で、門松の作業手順や門松の意味を学んだ。生徒会長から、「地域との関わりを高めるために、行事の参加率を増やしたい。また、地域の方が参加しやすい方法を考えたい。そして、挨拶やボランティア活動が活発に行われる室積学園にしたい。」と締めくくられた。

(質問)

始めた頃と、活動を続けたことで子どもたちがどう変わったか

(回答)

子どもたちが人前で何かをすることが苦手でも、経験を積むことで、前向きにボランティアに参加するようになった。

## (6) 意見交換

(議長)

今から、意見交換に入ります。子どもたちの「前向きな心」を共有しながら、「自主性」を育み伸ばすために、私たちにできることは何か。思いを共有するためにできることはないか。また、所属されている団体や機関で、前向きな心を大切に創意工夫されて取組がありましたら、お話を聞かせていただけたらと思います。室積学園のご発表や各学園の取組の中にもたくさん共有する取組があると思います。できるだけ多くの委員の皆様の思いやご意見をいただきたいと思います。

(委員)

島田中学校の生徒会も活発になっています。島田川学園では、4つの小学校の保護者が集まって意見交換する場所があり、島田川サミットで情報交換をし、「つながる、思いやり、感謝」「励ましに、成果を出して、恩返し」をキーワードに活動しています。

(委員)

中学生・高校生は、非常に変化や成長の大きい時期だと感じています。リーダーたちが発表を通して、地域のリアクションを受け、感謝してくれたりする大人がいることが非常に良いことだと思います。

(委員)

挨拶運動をしています。1、2年経つとずいぶん変わってきました。リーダーの子どもたちに「大きな声を出さないと返事が返ってこないよ」と伝えると大きな声で挨拶してくれます。また、お花を学校へ持っていくと「このお花なんと言うお花ですか」と聞いてくれ、そこからコミュニケーションを取ることができます。お花に関心を持ってくれることも、私たちの活動の生きがいでもあります。

(委員)

地域の大人と気軽に交流し「人との関わりを大切にする」ことが大切であると考えます。高等学校に入ってくる段階でも不登校の子どもたちが非常に増えています。本校は通信制課程があり、人数がどんどん増えています。共通の形で学ばせることが難しくなっている時代でもあることから、それに対応した学びを提供することも考えていくことや学校はこうあるものだという価値観も変えていかなければいけないと感じています。

(委員)

「前向きな心」を持つ子どもは、心のエンジンが動いている状態で、心のエンジンが動いて取組を進めている子どもたちは、我々が想像する以上の成果をあげてくれています。本当にやりたいと思う環境を学校は作っていきたいと思います。子どもたちの心のエンジンが動き出すきっかけは、個々に違うので、できるだけ多様な経験や体験を見せてあげたいです。そのためには、学校の枠、地域の枠を飛び越えて取り組めないだろうかと考え、子どもの発想が広がるような仕掛けを持っていたいと思います。

(委員)

発表では、自然と文化を融合させて、地域の特性を生かした活動に関心を持って聞かせていただきました。大和学園では、小学校同士の連携、小中の連携と関連して取り組んでいます。大和中学校の生徒たちの主体的な活動を見て、小学生があんな中学生になりたいなと憧れの気持ち持つ良い習慣が生まれています。

(委員)

生徒が安心安全な活動を展開するために、身体的虐待、心理的虐待、無視等の危険回避をする指導法を指導者・保護者等が研修や講習会を行っています。指導者は、子どもの権利を保護する存在です。大人による適切な教育、指導、監督等が必要です。なかなか難しいのが現状ですが、前向きに実施していこうと思います。

(委員)

子ども大綱にこどもまんなか社会を挙げて推進し、本市でも来年度子育てのための計画を作成中です。子どもを儲けたいと思ったときから、大人になるまで、子育てに寄り添っていくということで、生まれる前からのサポートが求められています。その中で、子どもも保護者も前向きに進んでいけるような相談支援体制を整えていきたいと思います。

(委員)

「前向きな心」を育てるために私たちにできることは何かテーマになっていますが、先ほどの室積学園の説明の中の子どもの感想に「私たちのアイディアに保護者や地域の方がさまざまな助言や支援をくださり、また一歩近づきました」と発言しています。まさに子どもが主体性を持ってやり遂げようとしています。子どもたちの思いや願いがあって、それを学校運営協議会で話したら、身近な地域の方々がそれに対して助言や支援をくださり、地域の方々との話し合いや活動の中で、子どもたちは、自己肯定感や自己有用感、社会の一員として実感しています。子どもたちにとって、自分の意見が聞いてもらえる、地域の中で貢献できている実感を持つということを大切にしながら、今後も地域の皆様と一緒に育つ関係をつくっていききたいと思います。

(委員)

今年度、青少年健全育成委員会を立ち上げています。子どもの子育てやいじめの問題など命の大切さをテーマに取り組んでいます。

(委員)

子ども会の活動は低下して、地域での活動に移行しています。現在では、子ども会は、浅江地区と光井地区が活動しています。

(委員)

学校と地域が交流し、協力する中で、地域の出過ぎることがあります。その兼ね合いが難しいと思います。室積中学校の取組は、学校、生徒からの発想を地域が手助けし、実現までのプ

ロセスが素晴らしい企画でした。

(委員)

全国でも不登校の増加が顕著になっています。多様に対応できるような学校教育がもためられていると感じます。

(委員)

光市は、地域の方と学校関係機関とが一体になったイベントが多く、取り組んでおられるところが活気あって、民主的だと感じます。地域で生活している自分にも子どもたちから「こんにちは」と挨拶があります。先ほどの室積中の発表にもあるように、地域のいろんな行事を子どもたちと一緒に組み立てられて実施されているので、子どもたちが、地域に育てられていることを感じているようで、それが、いずれ自らの動機になって、自分が育ててもらったから育てていこうとよいスパイラルに入っていると思います。そのつながりは、事件が減ることにつながっていきます。

(議長)

今回は、室積学園で取り組まれている、学校、家庭、地域が子どもたちの「前向きな心」を共有し、地域ぐるみで学びや育ちを支援する中で、将来を担う子どもたちが自主性を発揮しながら、課題解決力を身につけている事例をもとに協議を深めることができました。事例発表していただきました、大田先生どうもありがとうございました。私たちも子どもたちの「前向きな心」が失われることがないように、これからもそれぞれが所属する団体や機関での活動の場において、適切な判断のもとでしっかりと子どもたちの「前向きな心」を育てていきたいものだと思います。

(7) 今後に向けて (事務局)

今回の会議の内容は、担当の方でまとめ、後日、市内の各学園の学校やコミュニティセンター等にもお伝えしたいと思っています。「前向きな心」を共有していただくとともに、活動の参考にしていただこうと考えています。来年度の協議会では、引き続き「前向きな心」をテーマにこれからの一年間で、さらに進んだ、そして工夫された取組等の発表や意見交換ができればよいと思っております。

(8) 会長あいさつ

今日は室積中学校の先生方、発表をありがとうございました。皆さん方からのご意見を聞き、本当に地域を思っている素晴らしい意見を伺いました。二つ私の思いを紹介したいと思います。一つは、質問の中で「活動を継続したことでどう変わったか」というこういう視点は非常に重要なことだと思いました。もう一つは、「心のエンジンを動かす」というフレーズです。そこでは、「心のエンジンを動かす燃料は、一体何だろうか」という話になると「保護者や地域の方が様々な助言や支援をしてくれる」これは、大きな一つの燃料になるのではないかと「友達の手助け、絆」も心のエンジンの燃料になるのではないかと思いました。心のエンジンを動かす燃料は何かということを考えたとき、「子どもを支援する本当の意味、目的」が明らかになるのではないと思った次第です。皆さんとともに活動を続けていきたいと思っています。

7 問い合わせ

光市教育委員会青少年センター (0833-72-2245)